

CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月
発行日：毎月15日・月末
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 25 No.14 2023年7月31日

製品・サービス動向-国内

■ゼンハイザージャパン：シーリング・マイクなど最先端音響システムを体感できる「SENNHEISER エクスペリエンスルーム」を開設

（取材/プレスリリース：7月27日）

ゼンハイザージャパン株式会社（<https://ja-jp.sennheiser.com/business>）は、新青山ビル西館2F・テナント向け貸し会議室に、シーリング・マイクやカメラなどゼンハイザーと QSC の会議システムを導入したと発表。また、この貸し会議室は、会議用音響システムの導入を検討している企業向けの「ゼンハイザー エクスペリエンスルーム」（要予約）としてもオープンした。同社はメディア向け体験会を同場所で開催した。



青山ツイン レンタルミーティングルーム サクサク (写真提供：ゼンハイザージャパン)

この貸し会議室（別名：青山ツイン レンタルミーティングルーム サクサク）は、東京・青山のランドマーク新青山ビルの西館にある三菱地所が同ビルのテナント向けに運営する貸し会議室で、13.835m x 6.708m (92.81m) の広さを持ち、40～60 名程度の会議などイベントを行うことができるスペースとなっている。オンライン会議需要等の増大に対応するため改装を行い、6月12日にリニューアルオープンした。

今回のリニューアルにあたって QSC の会議システ

ムを導入した。2台の PTZ カメラと1台のフレックスレンズカメラ、さらにゼンハイザーの会議用シーリング・マイクなどが導入され、これらは集中管理されている。

このシステムでは、部屋のどこからでも発話するとシステムが感知し、その話者を天井設置のカメラで自動追尾により捉え、シーリング・マイクで収録する仕組みを提供している。またその声は同じく天井設置のスピーカーから拡声されるようになっている。

従来の会議室の音響設備で指摘されることがある、収録のばらつき、誰が話しているのか、設置が難しいなどの「ペインポイント」を解決しているとしている。



Team Connect Ceiling 2
(写真提供：ゼンハイザージャパン)



Team Connect Ceiling Medium
(写真提供：ゼンハイザージャパン)



NC Series PTZ Conference Cameras
(写真提供：ゼンハイザージャパン)



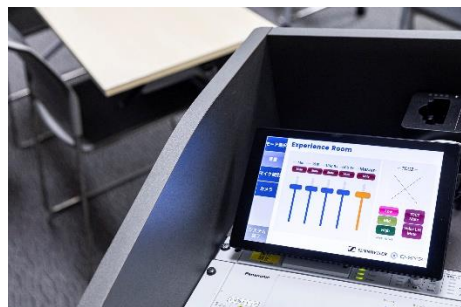
NC-110 Conference Camera
(写真提供：ゼンハイザージャパン)

天井には、シーリング・マイク「Team Connect Ceiling 2」(以下、TCC 2)と「Team Connect Ceiling Medium」(以下、TCC M)が複数設置されている。前者のTCC 2では、ユニット内部に28個のマイクを内蔵し、内蔵されたマイクはソフトウェアで自動的に管理され、話者を特定し自動追従する「ビームフォーミング」機能を提供している。話者はマイクを持たずに自由に発言するだけで、TCC 2が最適な音声を出力する。加えて、空調機器などのノイズ発生源をあらかじめ除外することも可能になっている。後者のTCC Mは、TCC 2のシリーズ製品で、よりコンパクトなボディで同様の高品位会議音響システムを実現する最新製品。

TCC 2/TCC MとQSCのシステムが提供する「ボイスリフト」機能(「TrueVoicelift」)は、話者の音声を拡声することで、遠い位置にいる参加者に対して、手持ちマイクを使用せずに明瞭な音声を届けることが可能になる機能。また、参加者の発言についてもマイクなしで全員が聞こえる状態に自動的かつ適度に拡声されるようになっている。その際にTCC 2/TCC Mで收音・調整された音は、新たに設置されたQSCの天井スピーカーより出力される形になっている。なお、手持ちマイクへ切り替えたり、またシーリング・マイクへの切り替えも会議室内に設置されているコントローラーで操作可能となっている。

ゼンハイザーのシーリング・マイクには、このボイスリフトをサポートする「自動周波数シフター」、「イメージンシーミュート」といった機能のほか、対向先用とボイスリフト用のDante Chを別にすることも可能で、これらは他社同様製品にはない特徴とい

う。



High Definition Touch Screen Controller TSC-101-G3
(写真提供：ゼンハイザージャパン)

「広い会議室でも個別のマイクを用意する必要がなく、離れた位置に座る参加者へ明瞭な音声を届けることができる。また、複数人しゃべっても相手にも自然に聞こえる。ありとあらゆる会議室で使える。是非体感してほしい。」(ゼンハイザージャパン)

■ Neatframe：ビデオ会議デバイス新製品 「Neat Center」を発表、「会議の公平性 (Meeting Equity)」を追求した究極の製 品

(PRTIMES：7月24日)

Neatframe 株式会社 (<https://neat-japan.com/>) (東京都中央区)は、日本市場向けに、ビデオ会議デバイスの新製品「Neat Center」を販売することを発表した。



Neat Center (写真提供：Neatframe)

Neat Centerは、360度をカバーする3つのカメラと16個の全指向性マイクを搭載し、会議室前方のNeatデバイス(「Neat Board」や「Neat Bar」、

「Neat Bar Pro」を指す)と連動し、参加者を認識して両方の映像・音声を自動的に切り替えることで、会議室の参加者がどこに座っていてもどこを見ているも、参加者の顔をはっきりと映し出すことができ、リモートの会議参加者は、まるで会議室にいるかのような一体感を感じることができるようになっている。まさに「会議の公平性 (Meeting Equality)」を追求した究極の製品という。

本体の高さは 280mm、幅 80mm。一本のネットワーク電源ケーブルを接続するのみでセットアップが簡単。会議テーブルの上や天井から吊すことも可能で柔軟な設置に対応している。「Zoom」と「Microsoft Teams」にシームレスに連携できる。

Neat は 2019 年の創業以来、会議の公平性を実現するため、会議室の参加者一人ひとりの顔を効果的に切り出してズームアップし、表情や身振り手振りなどの振る舞いまでもリモート参加者に伝えることができる、特許取得済みの「Neat Symmetry」機能を開発し、独自の製品群を展開してきた。多様な場面でビデオ会議の利用が増加する中、会議室前方のカメラに背を向けてしまっても、その人の表情や動作が見えるようにしてほしい新たなニーズが生まれてきた。Neat Center は新しいニーズに対応したソリューション。

※Neat Center ご紹介 (日本語字幕)

<https://youtu.be/9rOkToEM2zE>

■ヤマハ：「ADECIA ワイヤレスソリューション」の新モデル ヤマハ 16ch ワイヤレスアクセスポイント「RM-WAP-16」を発売

(プレスリリース：7月19日)

ヤマハ株式会社

(https://jp.yamaha.com/products/proaudio/unified_communications/index.html) (静岡県浜松市) は、遠隔会議用ワンストップサウンドソリューション

「ADECIA ワイヤレスソリューション」の新モデルとして、16ch ワイヤレスポイント「RM-WAP-16」を8月に発売する。



16ch ワイヤレスポイント「RM-WAP-16」
(写真提供：ヤマハ)

近年、テレワークやオンライン授業の普及で働く場所や学ぶ環境にも変化が生まれ、ビデオ会議や Web 会議など遠隔会議の頻度が増えている。ヤマハでは、2021 年 1 月に天井マイク型の「ADECIA シーリングソリューション」を発売し、同年 6 月には有線式テーブルトップマイクを使った ADECIA テーブルトップソリューション、2022 年 4 月にはワイヤレスマイクを使った ADECIA ワイヤレスソリューションとラインナップを増やし、円滑な導入と柔軟な運用のために音の入口から出口までを兼ね備えたワンストップサウンドソリューションを提供してきた。

今回発売する「RM-WAP-16」は、1 台で 16ch 分 (最大 16 本) のマイクロフォンとペアリングが可能である。また、1.9GHz 帯の DECT 方式を採用しワイヤレス伝送を暗号化することで、情報漏えいなどセキュリティ面の安全性を高くした。さらに、オーディオネットワーク規格「Dante」と PoE 給電に対応しているため、配線は LAN ケーブル 1 本で完了する。

導入の際は、ADECIA ワイヤレスソリューションにラインナップされるグースネック型マイクロフォン「RM-WGS」「RM-WGL」やワイヤレス指向性/無指向性テーブルトップマイクロフォン「RM-WDR」「RM-WOM」を会議スタイルに合わせて選択し、「RM-WAP-16」との Web UI を利用したペアリングや音声ルーティングが可能となっている。

RM-WAP-16 の品名は 16ch ワイヤレスアクセスポ

イント。希望小売価格は687,500円（税込）。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

セミナー・展示会情報

<国内>

■Neat ウェビナー 新製品・サービスご紹介 (Neat Center、Neat Pulse)

日時：8月3日(木)15:00～

会場：オンライン

主催：Neaframe 株式会社

詳細・申込：

<https://event.on24.com/wcc/r/4294540/7217D58BEB8586265FF446B472900133>

■ブイキューブセミナー情報（8月）

「従業員中心のオフィス改革～『もう出社しない』なんて言わないよ、絶対～」 「Web 講演会の滞在率30%UPが期待できるプラットフォーム・演出とは!？」 「バーチャル株主総会 配信会場シミュレーション」など

会場：オンライン／オンデマンド／東京／大阪

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■Webex Meetings 関連ウェビナー（8月）

会場：オンデマンド（2020年以降録画）

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html

<海外>

■Webexone 23

日時：10月24日～26日

会場：アナハイムマリオット（米国・カリフォルニア州）
& バーチャル

主催：米シスコシステムズ

詳細・申込：<https://www.webexone.com/>

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記URLで閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2023年7月31日号おわり

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp